

# 文京区立第九中学校 校長室通信 「文京九中 ここにあり」



平成28年度 第3号  
平成27年6月27日発行



文京区立第九中学校 校長 小 椋 孝  
■ TEL 03-3821-7178 ■ FAX 03-5685-4955  
■ H P <http://www.bunkyo-tky.ed.jp/daikyu-jh/>

## 「魅せた！ 九中魂！」 ～ 5月28日（土）に第70回運動会を挙行！ ～

運動会当日は、雨の影響が心配されましたが、ほどよく湿り気のある校庭と薄曇りの天候の中、とても良いコンディションで行うことができました。全ての種目において全力で取り組む生徒の姿が見られ、学級の協力、信頼、団結の度合いも非常に高いものが感じられました。特に、女子全員による「九中ソーラン」、男子全員による「組体操」は、3年生を中心に全体がよくまとまり、きびきびとした動きで「何事にもひたむきに取り組む九中生」の真骨頂の姿を見せてくれました。

自らの努力と仲間との絆で得たものは、とても大きな財産になると思います。特に運動会の大成功に導いた3年生の頑張りには、喜びを感じるとともに頭が下がる思いです。ぜひこの努力の成果を今後の学校生活に生かし、さらに大きく成長していくことを願っています。

女子全員「九中ソーラン」



男子全員「組体操」



学級対抗「大縄跳び」



## 熊本地震への義援金 ～ 更なる皆様の温かなご協力に感謝申し上げます ～

4月末に生徒会が行った募金に引き続き、運動会の際にも第九中学校支援地域本部の方が中心となって熊本地震復興のための募金を行いました。多くの方にご賛同いただき、次のように多くの募金を集めることができました。生徒会の募金と同様、文京区を通じて被災地に届けていただくことにしました。皆様の温かなご協力に心から感謝申し上げます。

＜生徒会による募金額＞

76,549円

＜運動会の際の募金額＞

16,845円

＜熊本地震への募金総額＞

93,394円

+

=

## 今年も「新聞への意見文」投稿を勧めています ～平成28年度第2回の紹介～

※ 毎日新聞「みんなの広場」平成28年5月16日（月）掲載

### 命一つだから味わい深い人生

中学生 寄金 良圭（13） 東京都文京区 [2年3組]

「命が二つあったら」という授業を受けた。

授業中は、二つあった命が一つしかなくなってしまったら、あせってもう一つの命を大切にしている人がいると思っていた。だが、思い返してみると、やっぱり違う気がする。命が一つだからこそ、人生に喜びがあり、悲しみがあり、成長があり、後悔があるのだと思う。やり直せる人生があるなら、みんな何をやるかわからない。昨日、祖父がなくなった。一つの命が消えてしまった。祖父がいなかったら、私の母もこの世に生まれていない。つむいできてくれた命に感謝して、私は、今を強く生きていたいと思う。もし命が二つあったら、こんなことは考えもしないだろう。やり直しがきかないと思うからこそ人生は味わい深いのだと思う。命が一つしかない私たちにしかできないこと。それは、他人を思いやり私たちが未来を大切にすることではないのだろうか。

※ 毎日新聞「みんなの広場」平成28年6月7日（火）掲載

### 「明るい色」の言葉を使いたい

中学生 豊田 絵里（13） 東京都文京区 [2年2組]

「切り替えて」「まだまだ跳べるよ」。運動会の大縄跳びの練習の時、自分の言葉に驚いた。1年前のきつい言葉を言う自分ではなく、温かい優しい言葉を言う自分がいたからだ。

私は思ったことをストレートに言う癖があり、友達を傷つけてしまっていた。そういう自分が嫌いだった。きつい言葉を発した後は気持ちがブルーだった。違う言い方なら相手を傷つけずに済んだのにと悔やんだ。しかしあの時はオレンジ色の気持ちになった。

気付いた。言葉には、色があるということに。

明るい色の言葉をしゃべれば心も明るくなり、暗い色の言葉なら心も暗くなる。何より、明るい色の言葉が増えるほどクラスの団結力がアップしていく。

言葉は人と人をつなぎ、つながった人たちを正しい道へ連れて行ってくれる。正しい道は、言葉の色が決めてくれる。どの色になるかは私たちの口から出る言葉によって決められる。今年の運動会では、言葉の大切さを知ることができた。

## <お詫び>

毎年、発行している学校誌「藤咲く丘」では、部活動や各種コンクール、コンテストなどの成果を掲載し、改めて生徒の努力の成果を顕彰させていただいているところですが、昨年度末（平成28年3月）に発行した第65号において、次の表彰の紹介が漏れてしまっていました。ここに謹んでお詫びを申し上げますとともに、改めて紹介させていただきます。今後、このようなことのないよう、編集作業には万全を期してまいりますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。

### ■ 全日本中学生「水の作文」コンクール（主催：国土交通省、都道府県ほか）

○ 入 選（中央審査会 佳作）

※ いずれも現2年生です。

高木 美菜 さん 野田 彩乃 さん 服部 滯 さん

○ 入 選

加藤 遼 くん 瀧島 彩花 さん 星野 凜 さん 増子 瑞稀 さん